

2022年5月期 第2四半期決算説明資料

ERIホールディングス株式会社

2021年12月28日



# ERI

Evaluation, Rating, Inspection

# Holdings

## V字回復基調を維持

- 第2四半期においても住宅事業者の回復が継続して、当社業績の回復を力強く後押し
- 新設住宅着工戸数、非住宅建築物着工面積ともに前年対比で増加
- 全てのセグメントで増収増益
- サッコウケンのM&A効果、グリーン住宅ポイント申請に係るサービス、保険金収入、収益認識に関する会計基準の改正などが一時的に利益の押し上げ要因となる
- 第2四半期における過去最高利益を計上することができ、期末業績予想および配当予想をそれぞれ上方修正
- 今後の市場動向に関しては、コロナ禍からの反動的な住宅回復の沈静化、建設資材価格の高騰、建築設備の供給遅延などの動向には留意も必要

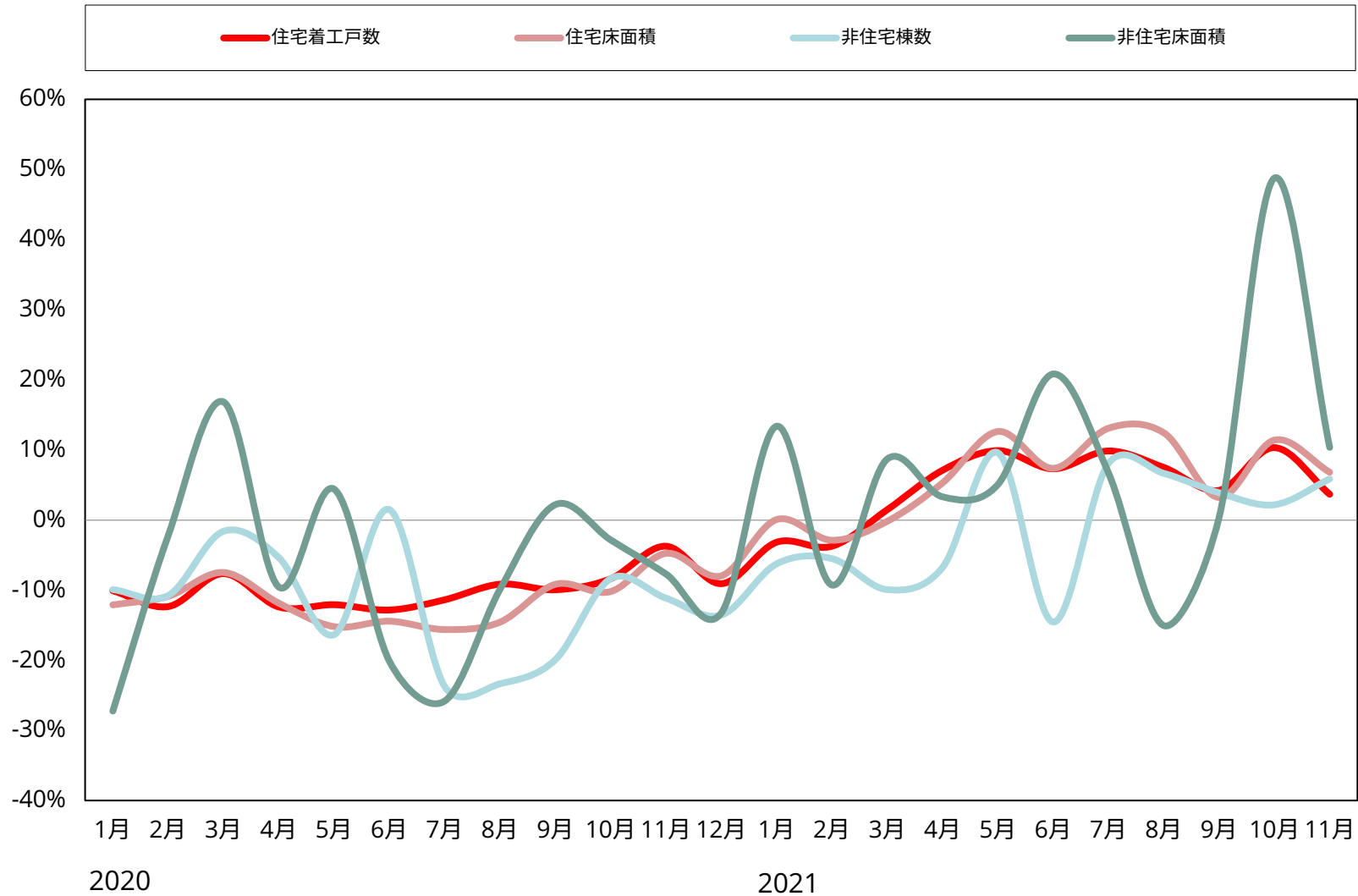
# 連結業績ハイライト

(百万円)	2021年5月期 第2四半期 (2020/6- 2020/11)	2022年5月期 第2四半期 (2021/6- 2021/11)	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	6,824	<b>7,934</b>	1,109	16.3%
営業利益	▲78	<b>931</b>	1,010	-
営業利益率	▲1.2%	<b>11.7%</b>	-	-
経常利益	▲14	<b>988</b>	1,002	-
経常利益率	▲0.2%	<b>12.5%</b>	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲33	<b>601</b>	635	-
一株当たり四半期純利益 (円)	▲4.27	<b>76.84</b>	81.11	-

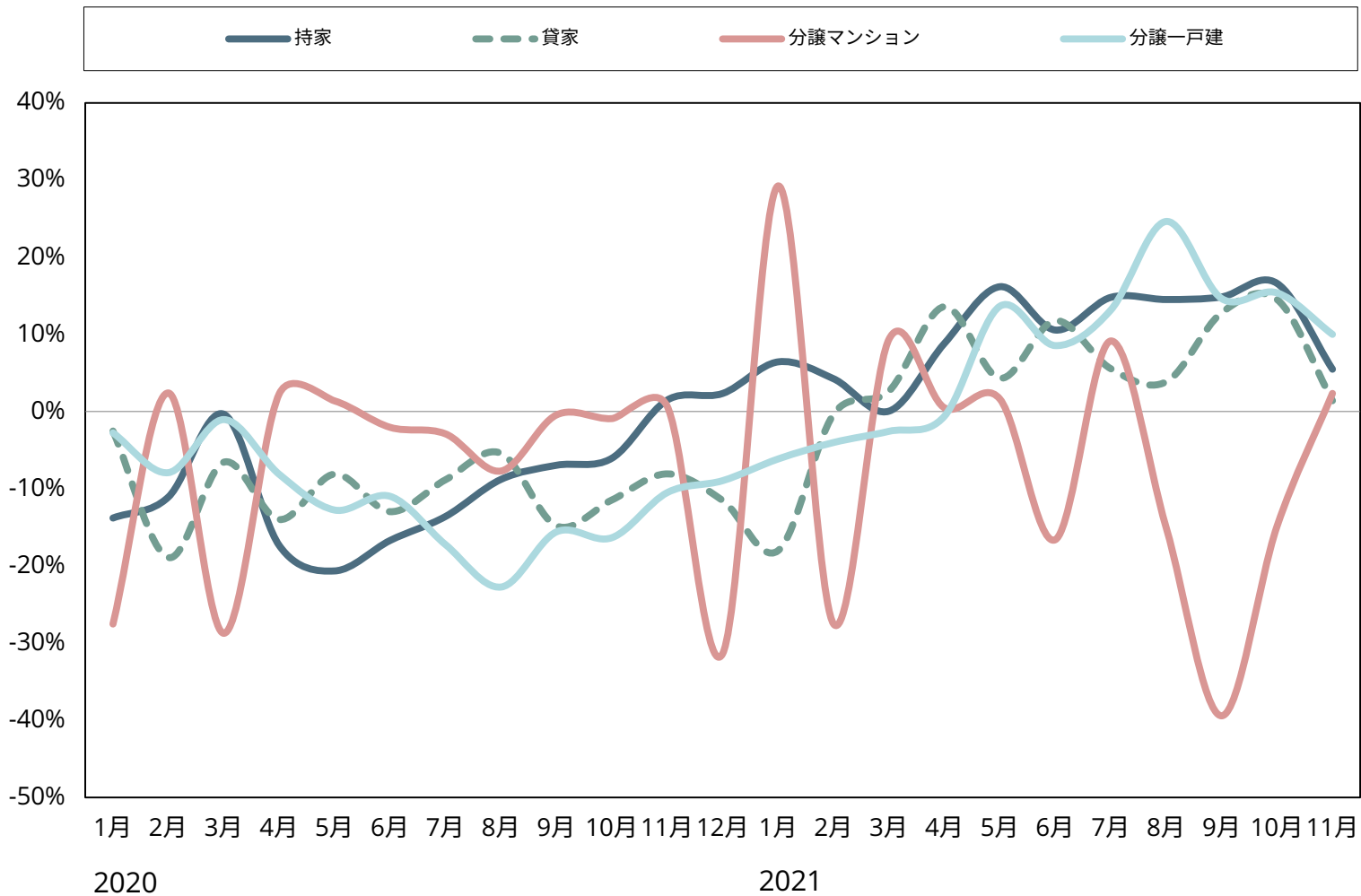
# 連結セグメント別実績

(百万円)	2021年5月期 第2四半期 (2020/6- 2020/11)	2022年5月期 第2四半期 (2021/6- 2021/11)	前年比 増減額	前年比 増減率	セグメント 利益	セグメント 利益 増減額
確認検査事業 及び関連事業	3,783 [55.4%]	<b>4,256</b> [53.6%]	473	12.5%	590	565
住宅性能評価 及び関連事業	1,769 [25.9%]	<b>1,969</b> [24.8%]	200	11.3%	234	200
ソリューション 事業	518 [7.6%]	<b>690</b> [8.7%]	172	33.2%	8	61
その他	754 [11.1%]	<b>1,017</b> [12.8%]	263	35.0%	131	185
合計	6,824 [100.0%]	<b>7,934</b> [100.0%]	1,109	16.3%	964	1,011

## 全国の住宅・非住宅着工 対前年同月増減率



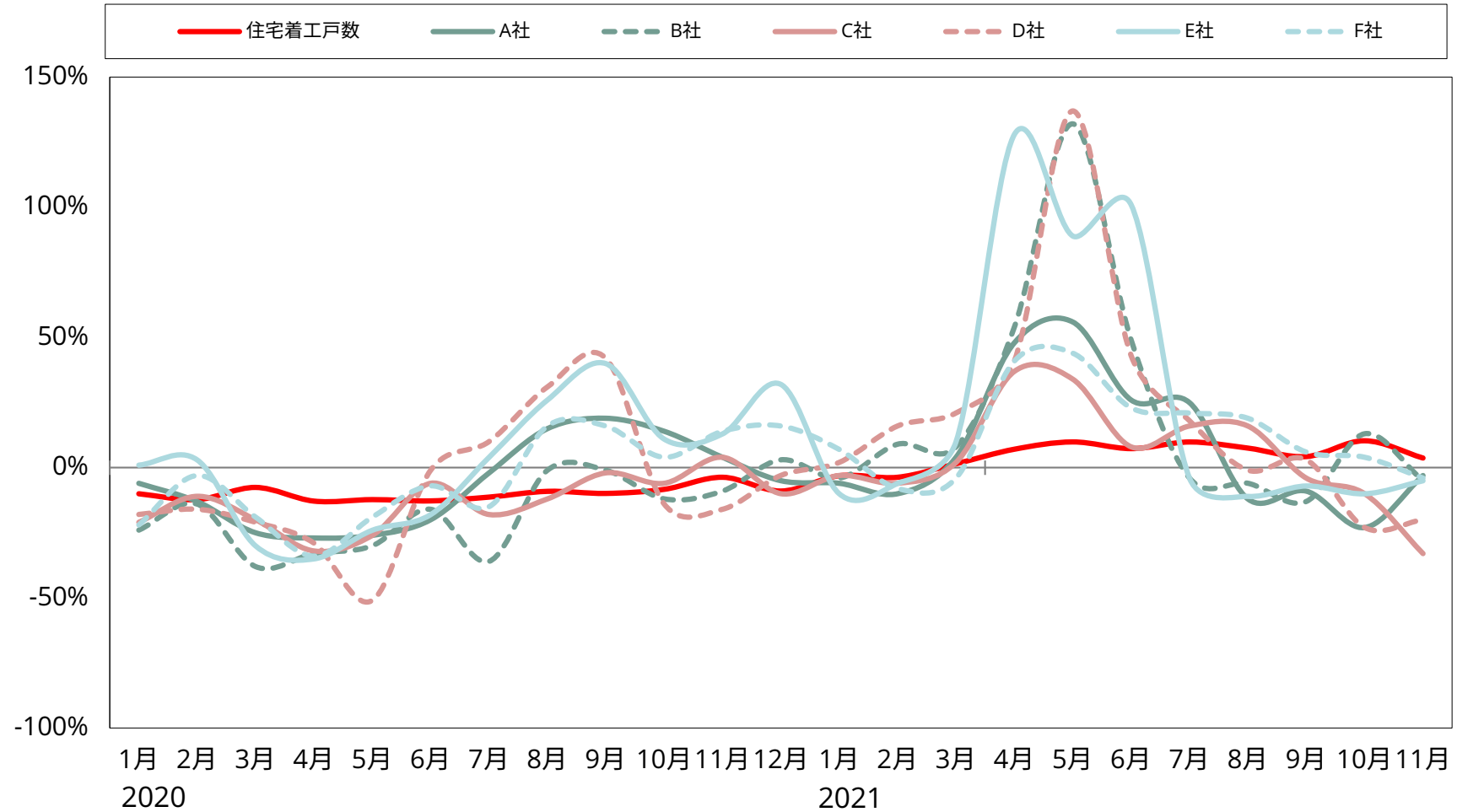
## 全国の住宅着工内訳別 対前年同月増減率



## 6月-11月累計戸数 前年増減比

新設住宅着工	7.2%
持家	12.7%
貸家	8.2%
分譲マンション	▲14.3%
分譲一戸建	14.0%

## 大手ハウスメーカーの戸建住宅受注状況 対前年同月増減率



※ A社、B社、E社は戸建注文住宅、C社、D社、F社は戸建住宅の受注金額状況（各社のHPより当社調べ）

## 全国における2022年5月期第2四半期の建築着工統計 (2021年6月～2021年11月)

### 住宅

	一戸建	長屋建	共同住宅	合計
着工戸数 (戸)	<b>230,691</b>	<b>38,336</b>	<b>183,366</b>	<b>452,393</b>
前年同期比	13.1%	6.4%	0.7%	7.2%
構成比	51.0%	8.5%	40.5%	100.0%
着工床面積 (千㎡)	<b>26,099</b>	<b>1,998</b>	<b>9,244</b>	<b>37,341</b>
前年同期比	12.9%	6.7%	▲0.1%	9.0%
構成比	69.9%	5.4%	24.8%	100.0%



## 全国における2022年5月期第2四半期の建築着工統計 (2021年6月～2021年11月)

### 非住宅

	事務所	店舗	工場	倉庫	医療・ 福祉	その他 (教育・ 宿泊等)	合計
着工棟数 (戸)	<b>5,249</b>	<b>2,801</b>	<b>3,449</b>	<b>6,779</b>	<b>3,329</b>	<b>11,080</b>	<b>32,687</b>
前年同期比	9.2%	7.2%	7.2%	▲13.4%	▲10.6%	9.2%	1.1%
構成比	16.1%	8.6%	10.6%	20.7%	10.2%	33.9%	100.0%
着工床面積 (千㎡)	<b>4,037</b>	<b>1,978</b>	<b>3,540</b>	<b>5,945</b>	<b>2,194</b>	<b>4,206</b>	<b>21,900</b>
前年同期比	84.0%	3.7%	22.8%	5.4%	1.2%	▲11.3%	12.1%
構成比	18.4%	9.0%	16.2%	27.1%	10.0%	19.2%	100.0%

# 連結 主要業務計数

		2021年5月期 第2四半期		2022年5月期 第2四半期		前年度増減	
		件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
建築確認		33,506	1,541	<b>42,154</b>	<b>1,905</b>	8,648	364
完了検査		33,796	1,407	<b>34,459</b>	<b>1,444</b>	663	37
設計性能評価 (新築)	戸建住宅	15,477	473	<b>18,282</b>	<b>563</b>	2,805	90
	共同住宅	12,063	132	<b>11,796</b>	<b>131</b>	▲267	▲1
建設性能評価 (新築)	戸建住宅	15,599	844	<b>13,821</b>	<b>797</b>	▲1,778	▲47
	共同住宅	8,529	125	<b>6,452</b>	<b>107</b>	▲2,077	▲18

# 連結 主要な施策

		2021年5月期 第2四半期		2022年5月期 第2四半期		前年度増減	
		件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)	件数 (件)	金額 (百万円)
長期優良住宅の審査		12,412	176	<b>15,229</b>	<b>227</b>	2,817	51
瑕疵担保保険の検査		18,162	157	<b>16,977</b>	<b>182</b>	1,185	25
省エネ適合性判定 (内 300㎡以上2,000㎡未満の件数)		748 (-)	119	<b>2,143</b> <b>(1,300)</b>	<b>264</b>	1,395 (1,300)	145
BELS	非住宅	49	7	<b>96</b>	<b>15</b>	47	8
	住宅	4,333	71	<b>6,280</b>	<b>137</b>	1,947	66

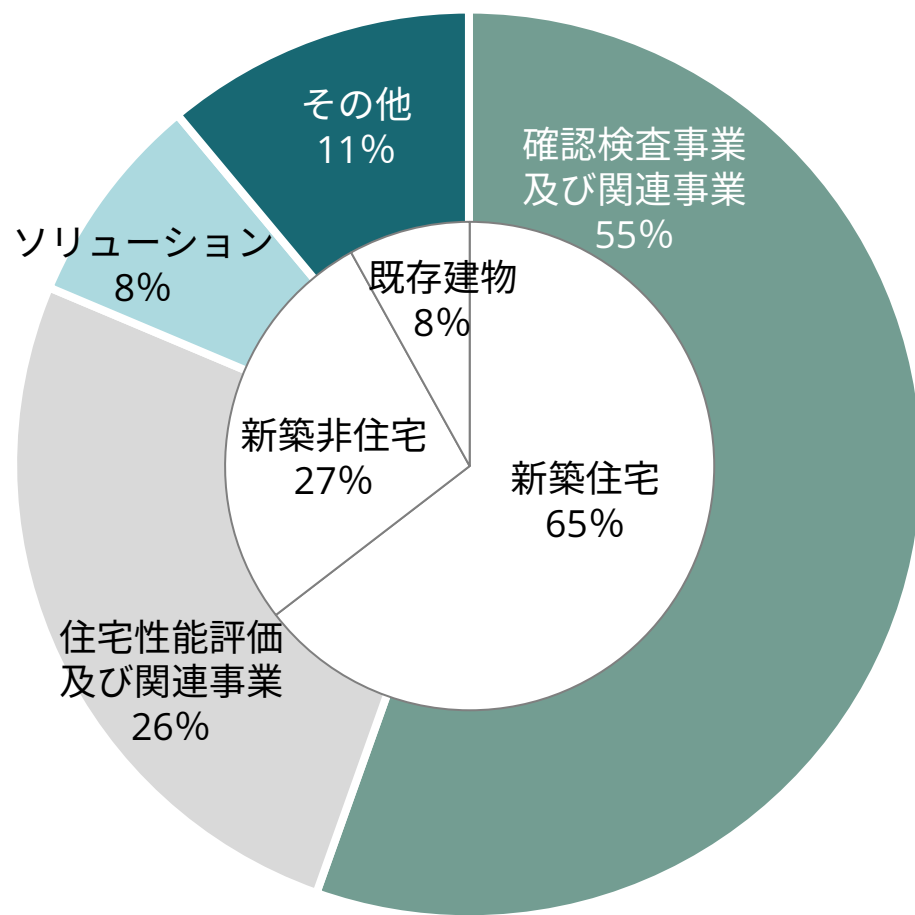
※ 「長期優良住宅の審査」は、適合証を交付した件数・金額を表し、増改築に係る件数・金額を含めています。また、計画変更に係る件数・金額を含んでいます。

※ 「瑕疵担保保険の検査」の抽出条件は、①保険法人検査や住宅性能証明業務は含めず瑕疵保険のみ、②保険受付業務を含む、③取引先全て、となります。

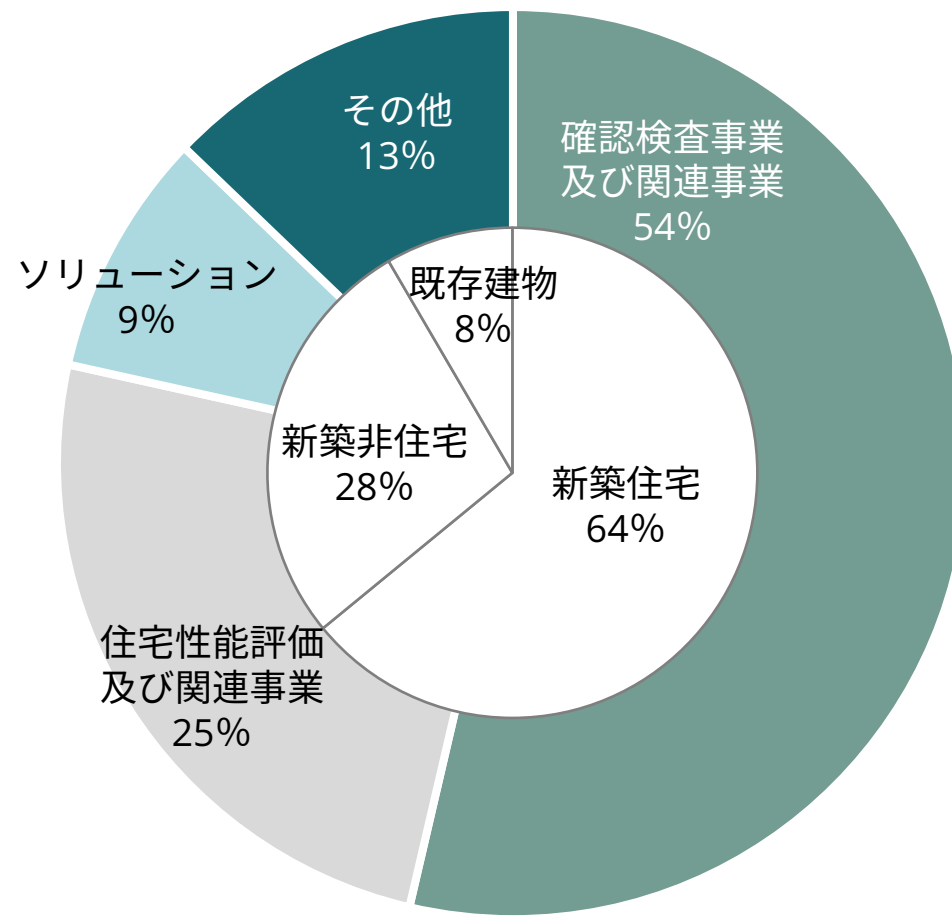
※ 「省エネ適合性判定」は、2020年5月期 決算説明資料より計画変更に係る件数・金額を含んでいます。

# 連結 売上構成比

## 2021年5月期第2四半期



## 2022年5月期第2四半期



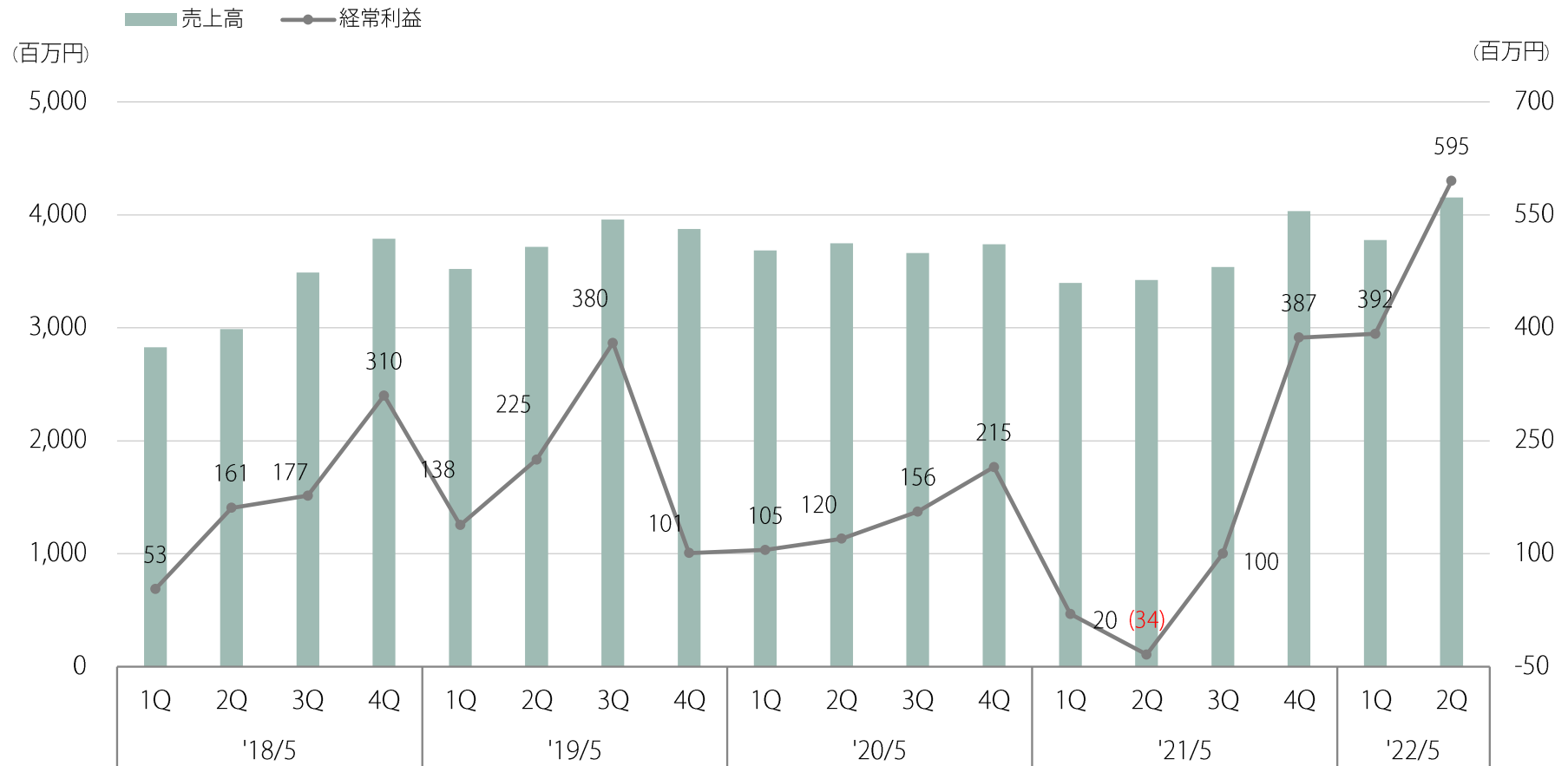
# 連結財務諸表【資産の部】

(百万円)	2021年5月期	2022年5月期 第2四半期	増減額
資産合計	6,477	<b>7,403</b>	925
流動資産合計	4,261	<b>5,344</b>	1,082
現金及び預金	2,650	<b>3,799</b>	1,148
売掛金	902	-	▲902
売掛金及び契約資産	-	<b>1,125</b>	1,125
仕掛品	420	<b>228</b>	▲191
固定資産合計	2,216	<b>2,059</b>	▲157
有形固定資産合計	531	<b>502</b>	▲29
無形固定資産合計	755	<b>706</b>	▲49
のれん	432	<b>393</b>	▲38
投資その他の資産合計	929	<b>850</b>	▲78

# 連結財務諸表【負債の部】

(百万円)	2021年5月期	2022年5月期 第2四半期	増減額
負債合計	3,453	<b>3,890</b>	437
流動負債合計	2,361	<b>2,674</b>	313
未払費用	784	<b>870</b>	86
前受金	769	-	▲769
契約負債	-	<b>863</b>	863
固定負債合計	1,092	<b>1,216</b>	124
純資産合計	3,024	<b>3,512</b>	488
株主資本合計	2,989	<b>3,474</b>	485
利益剰余金	1,954	<b>2,439</b>	485
負債純資産合計	6,477	<b>7,403</b>	925

# 連結四半期業績の推移



# 連結業績予想の修正

- 順調な業績回復を反映して、期初に発表した2022年5月期連結業績予想を上方修正
- 中期経営計画の営業利益目標12億円を上回り、過去最高益計上を予想

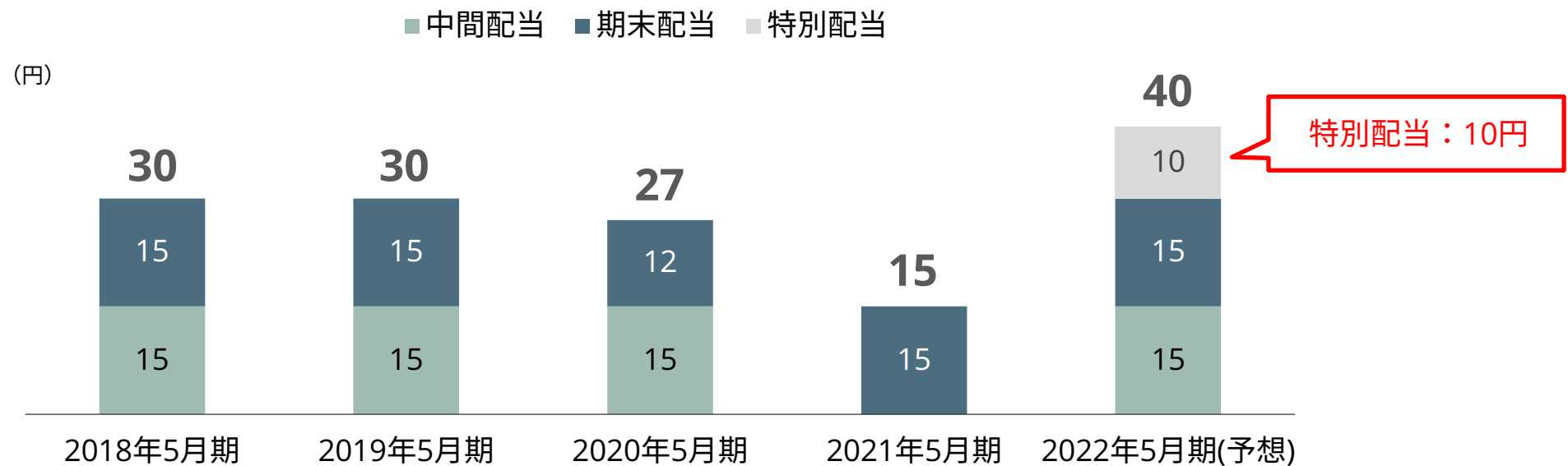
(百万円)	期初発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績 (2021年5月期)
売上高	15,232	15,810	577	3.8%	14,397
営業利益	789	1,600	810	102.8%	402
営業利益率	5.2%	10.1%	-	-	2.8%
経常利益	825	1,660	834	101.0%	474
経常利益率	5.4%	10.5%	-	-	3.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	492	1,031	539	109.6%	264
一株当たり当期純利益 (円)	62.84	131.73	-	-	33.95



# 配当予想の修正について

- 業績予想の上方修正を受け、これまでのご支援いただいた株主の皆さまに感謝の意を込めて、特別配当10円を期末配当に上乘せ
- 中間配当15円の実施と合わせて年間配当を合計40円に修正

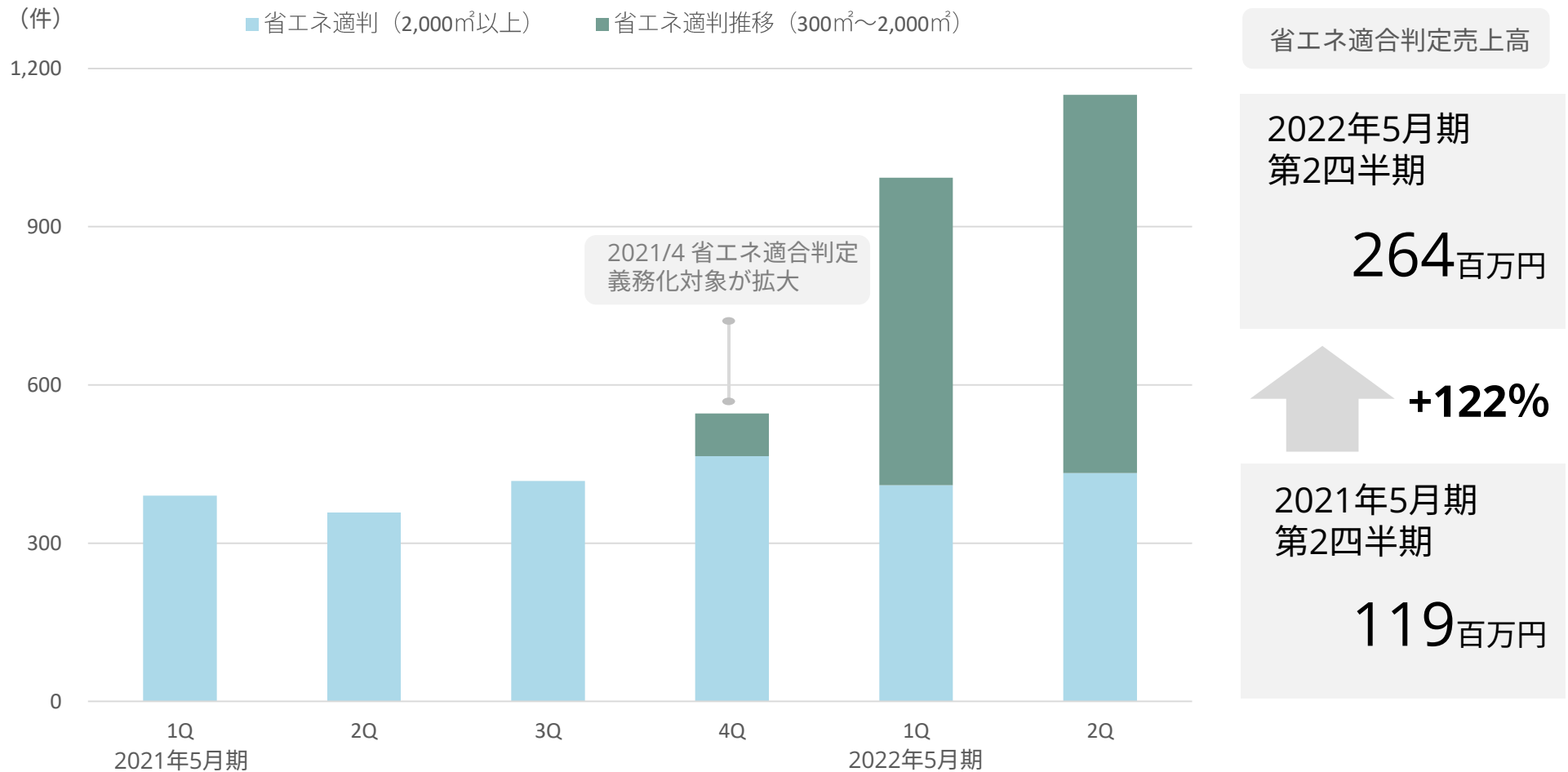
一株当たり年間配当金の推移



## 省エネ基準適合判定業務の実施状況

- 2021年4月より300㎡~2,000㎡の非住宅建築物が義務化の対象に追加
- 第2四半期の関連売上は前年同期比**122%増**

### 省エネ適合判定件数の推移



## BIM活用によるリモート完了検査の実証実験

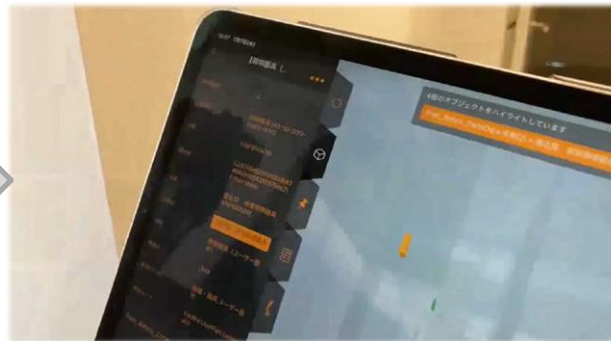
- 株式会社竹中工務店が取り組む国交省先導型BIMモデル事業の一環として日本ERIと共同で実証実験
- BIMモデルとPDF図面から、完了検査に必要な情報をタブレットで閲覧
- モバイル端末とWeb会議システムを活用したリモートによる検査支援

検査現場



遠隔からの指示内容を共通データ環境（CDE）を利用して確認し、現地の施工状況を報告

MR画面



排煙窓寸法、容積対象免除要件、不燃認定番号の確認、ハイライト機能による非常用照明設置位置の確認等を実施

検査員（リモート）



日本ERIの本社より、共通データ環境（CDE）を利用して申請情報を読み取り、現地に確認を指示

※ 国土交通省「第2回 先導型BIMモデル事業WG（令和3年10月11日開催）」資料より抜粋

## BIMとMR技術を活用したリモート中間検査の実証実験

- 株式会社アンドパッドが取り組む国交省先導型BIMモデル事業の一環として住宅性能評価センターと共同で実証実験
- 実際の現場映像に3Dモデル（構造、意匠）を画面に投影し、その視点を遠隔地にいる検査員と共有
- 検査員と現場監督はANDPAD上で、検査結果の連絡や必要な是正状況の確認作業を実施

検査現場



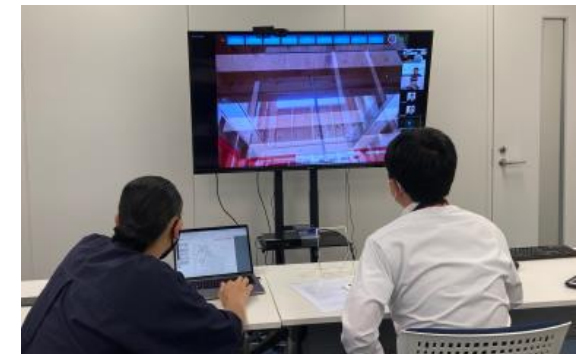
MRデバイスとウェアラブルカメラを用い、現場を撮影し、遠隔の検査員と会話しながら検査

MR画面



実際の現場と検査用図面を投影し、MR上で図面の濃さを自由に変更可

検査員（リモート）



住宅性能評価センター本社から、検査員がリモートで画面を確認しながらANDPAD図面に検査結果を書き込み

※ アンドパッドおよび住宅性能評価センターからのお知らせ  
「ANDPAD HOUSEにおいて、中間検査をリモートで実施 - MR技術やANDPAD 図面を活用」より抜粋

# IRに関するお問い合わせ

ERIホールディングス株式会社

広報IRグループ

TEL | 03-5770-1520 (代表)

E-Mail | [info@h-eri.co.jp](mailto:info@h-eri.co.jp)

<https://www.h-eri.co.jp/>



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。